

平成28年産水稻の生育状況と今後の対策 (水稻生育診断技術確立調査－1号)

農林総合研究センター
平成28年5月18日調査

気象経過

- 4月上旬は、平均気温が平年に比べ金沢、輪島ともにかかなり高く（平年比：金沢+3.6℃、輪島+3.1℃）、日照時間は金沢、輪島ともに平年並（平年比：金沢103%、輪島99%）、降水量は平年に比べ金沢が多く、輪島でかなり多くなった（平年比：金沢159%、輪島222%）。
中旬は、平均気温が金沢、輪島ともに平年並（平年差：金沢+0.8℃、輪島+0.5℃）、日照時間は平年に比べ金沢が多く、輪島は平年並（平年比：金沢134%、輪島112%）、降水量は金沢、輪島ともに平年並となった（平年比：金沢81%、輪島78%）。
下旬は、平均気温が金沢、輪島ともに平年並（平年差：金沢+0.3℃、輪島+0.0℃）、日照時間は平年に比べ金沢、輪島ともに少なく（平年比：金沢85%、輪島84%）、降水量は平年に比べ金沢、輪島ともにかかなり多くなった（平年比：金沢209%、輪島187%）。
- 5月上旬は、平均気温が平年に比べ金沢、輪島ともにかかなりは高く（平年差：金沢+2.5℃、輪島+2.1℃）、日照時間は平年に比べ金沢で少なく、輪島では多く（平年比：金沢87%、輪島111%）、降水量は平年に比べ金沢は少なく、輪島は多くなった（平年比：金沢41%、輪島125%）。
- 5月12日発表の1か月予報（5月14日～6月13日）では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

生育概況等

【育苗】

- 播種は3月末から開始され出芽揃いは概ね良好であった。4月は気温が平年より高く、日照時間は平年並から多く経過したことから、苗の生育は概ね順調となり苗丈および第1鞘高長は平年より長くなった。
- 乾物重は平年より重く、充実度は平年に比べやや高くなった。
- 病害虫では、一部で細菌性病害の発生が見られた。

【本田の生育】

- 田植え始期は、加賀地区で4月28日、能登地区で5月1日、田植盛期は、加賀地区で5月3日、能登地区で5月5日となり、県全体の田植盛期は5月4日と平年並で、前年に比べ1日遅くなった。
- 4月末の低温や5月初旬の強風の影響等から、葉先枯れ等の植痛みが散見され、一部圃場では葉色の発現が遅れたものの、その後回復してきており、生育は概ね順調である。
- 草丈はコシヒカリで平年並、ゆめみづほは近年に比べやや短い
コシヒカリ：加賀101% 能登106% 県平均：103%
ゆめみづほ：加賀95% 能登106% 県平均：97%
- 葉数展開は、平年並となっている
コシヒカリ：加賀±0葉 能登+0.1葉 県平均：+0.1葉
ゆめみづほ：加賀±0葉 能登+0.5葉 県平均：+0.1葉
- 分けつの発生は、田植えの早い圃場（4月下旬～5月初旬）で確認されている。

【病害虫の発生状況】

イネミズゾウムシによる食害が一部で散見される。

当面の対策

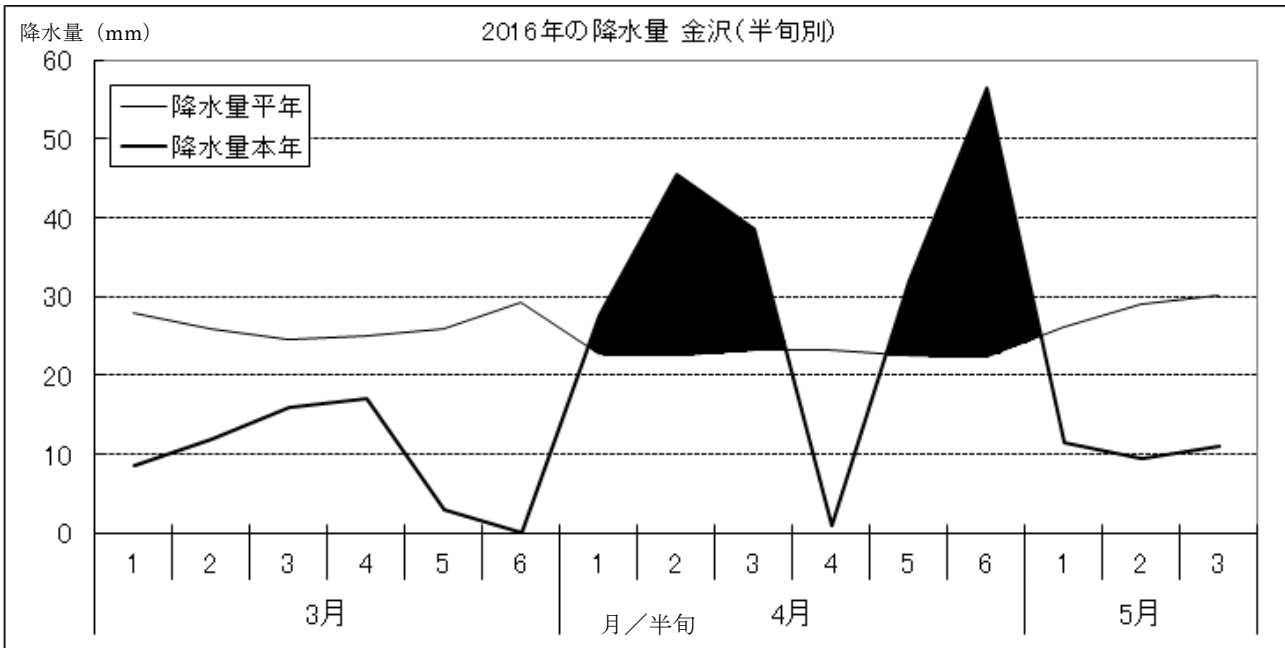
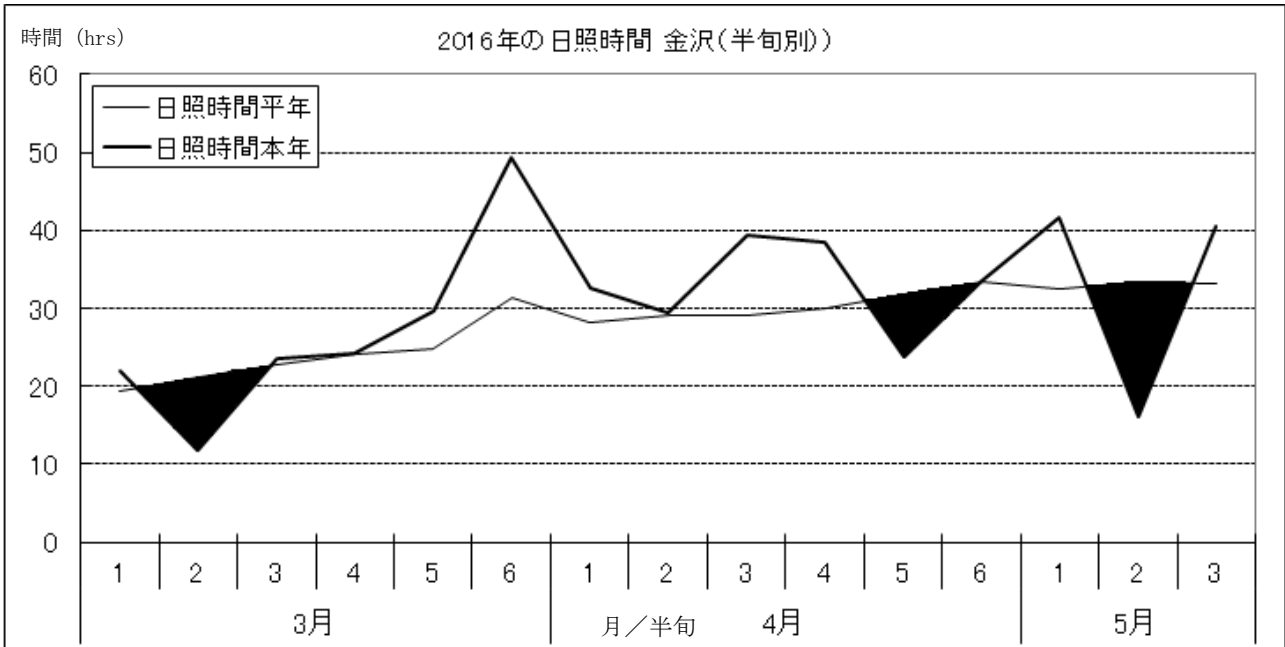
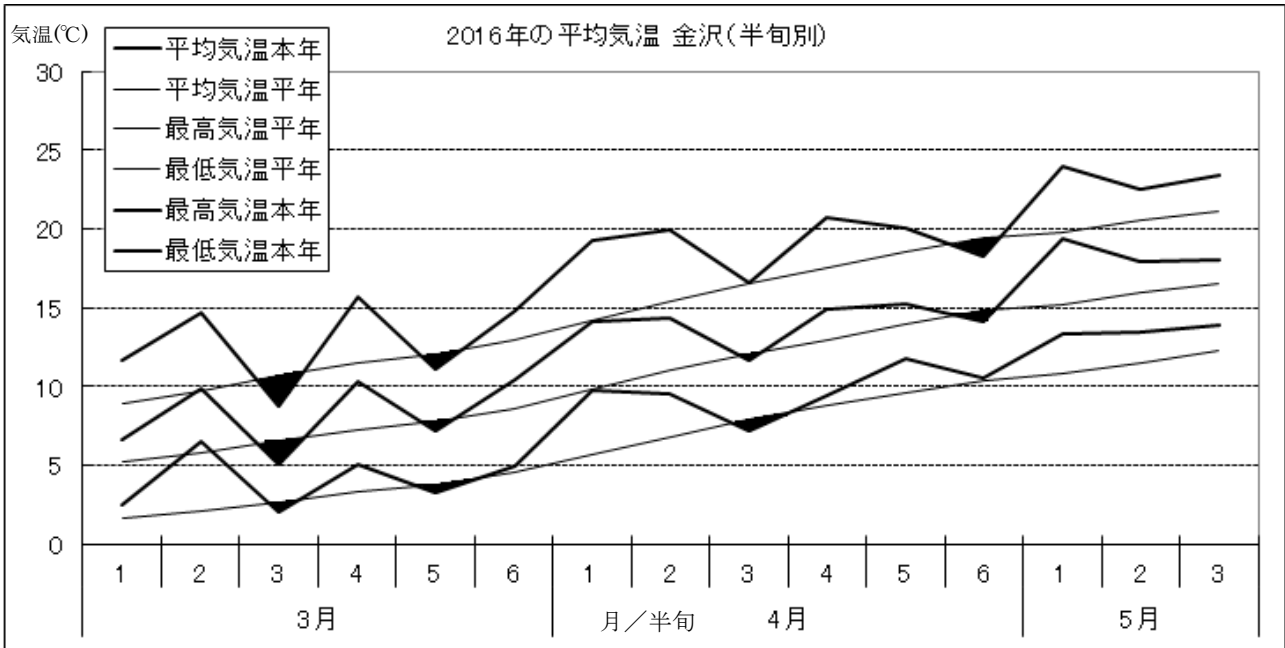
【本田】

1. 浅水管理により、良質分けつの確保に努める。
2. 好天時には軽い田干しを必ず行い土壌中のガスを取り除き、根の健全化を図る。特に中期除草剤散布前には必ず田干しを行ない、稲体の軟弱化を防止する。
3. 除草剤は、田植後気温の高い日が続いていることから、ノビエ等雑草の発生が早まっており、稲の葉齢を十分把握したうえで、適正な時期に遅れずに散布する。除草剤散布後7日間は落水や掛け流しをしない。
4. 中干し開始は、田植後1ヶ月を目安に行うが、生育の早い圃場では目標茎数（目標穂数の約70%、1株当たり コシヒカリ：13～15本、ゆめみづほ：15～17本）に達したら田植後1ヶ月を待たずに直ちに開始する。

【病虫害】

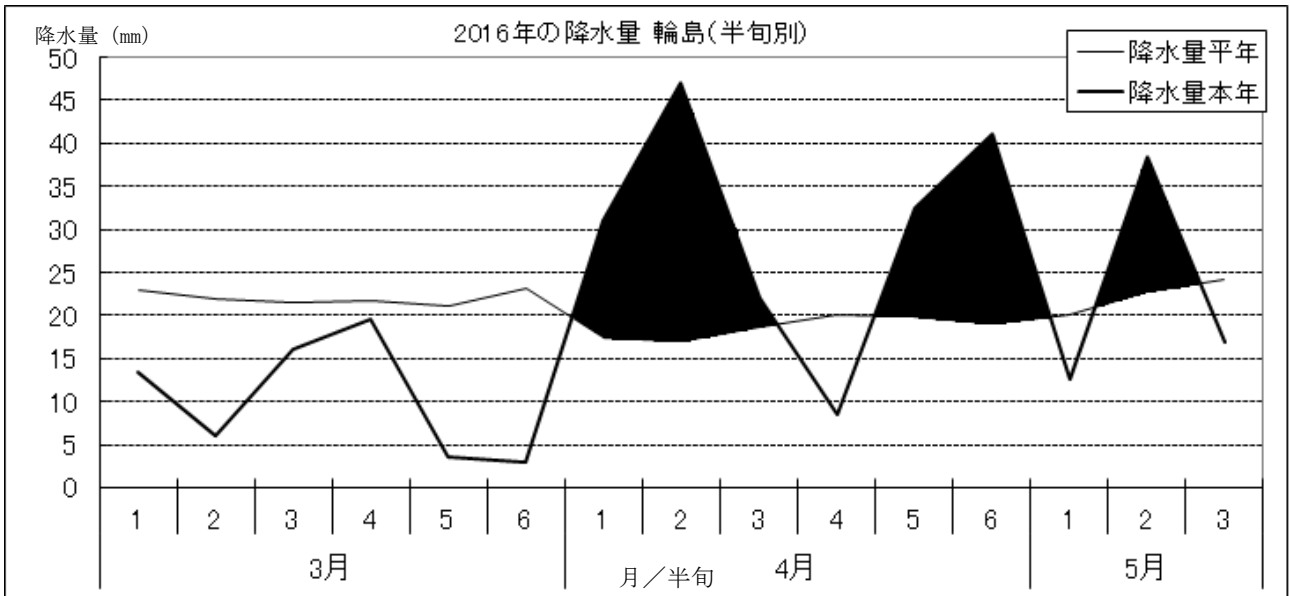
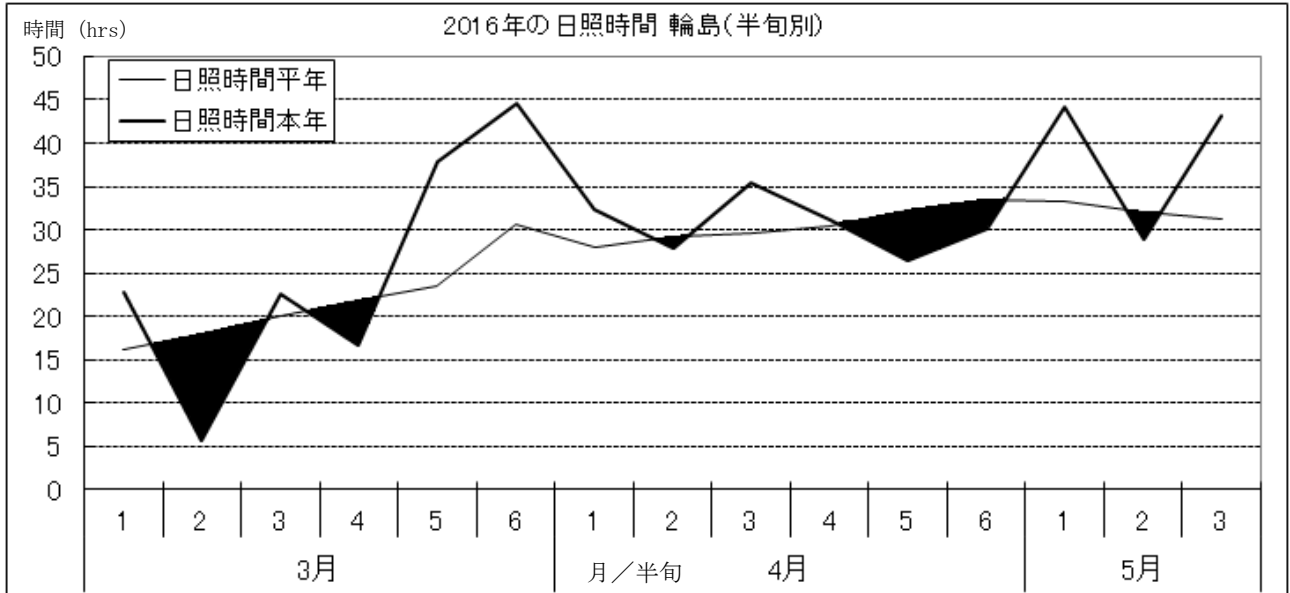
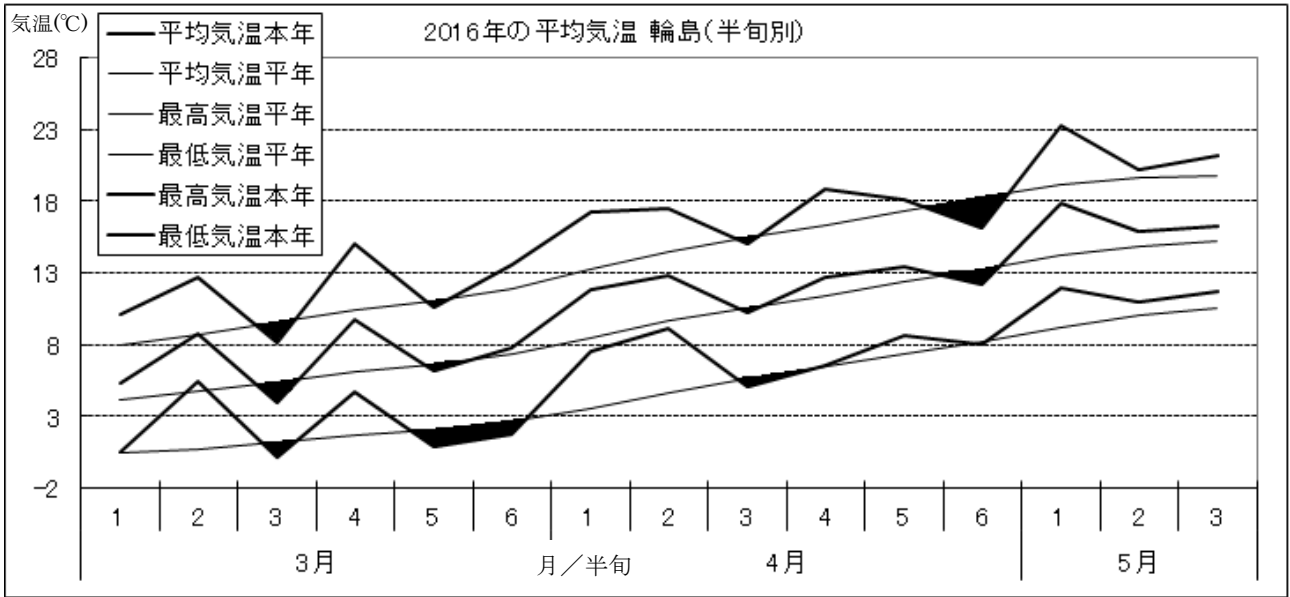
1. 補植苗の本田放置は、葉いもちの発生源となるので早急に取り除く。
2. イネミズゾウムシの防除（箱施薬）をしていない場合は、成虫が1株当たり0.3頭以上認められたら、湛水状態で粒剤を散布する。

気象経過イメージ (金沢气象台)



※金沢气象台観測データを基に石川県農業試験場が作成
 ※平年値は過去30年間(昭和56年~平成22年)の平均値
 ※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い

気象経過イメージ（金沢気象台）



※金沢気象台観測データを基に石川県農業試験場が作成
 ※平年値は過去30年間（昭和56年～平成22年）の平均値
 ※降水量・日照時間については、1、3、5、7、8、10、12月の第6半旬は、6日間の合計値となるため、他の半旬より値が大きくなる場合が多い